

# Message for the World Assembly for Women in Tokyo 2014



キルギス共和国前大統領  
国際社会基金  
(ローザ・オトゥンバエヴァイ  
ニシアチブ)創設者  
ローザ・オトゥンバエヴァ閣下



私たちは、キルギスタンという、山々の多くが海拔2000ー2500メートルとなる山間部に住んでいます。山頂は空に突き抜けています。多くの他の国々と同様に、我が国の空の半分は、女性の肩で支えられています。女性たちは、過去20年間に亘り我が国が停滞しないよう努力し続けてきました。女性たちは、また、社会主義から市場経済への移行期の主要な責任を負い続けており、移行してから既に非常に長い時間が過ぎています。今日、キルギス共和国の女性たちは、高い社会的地位を得ています。たとえば、最高裁判長、検事総長、会計検査院長官、閣僚、国会議員、大使、銀行及び会社の社長、1万以上の非政府組織、新聞及びインターネットのポータル会社の圧倒的に大多数の組織における代表から、ほぼ全ての教師、医師、女裁縫師、小規模商店の店長及び農場経営者まで女性が占めています。

私たちは、日本の新政府に女性が登用されたことを喜ばしく思い、また支持しています。この心温まるニュースは世界中に瞬く間に広がりました。

私は、本日東京にお集まりの、女性のための国際シンポジウムの代表団に皆様を歓迎したいと思います。強く、教養があり、また意欲的な21世紀の女性たちにグローバル社会の多くのことが託されています。私は、こうした全世界の女性達が集う機会を提供いただいたこと、また、日本国民が世界の様々な地域における女性の発展のため数十年に亘り行っている高潔かつ寛大な支援に関しまして日本政府に対する感謝を表明いたします。

8/18-2014.